

報道関係者各位

2009年4月2日

株式会社アットマークテクノ  
イー・フォース株式会社  
株式会社ウェルビーン

## ウェルビーン、アットマークテクノ製「Armadillo-9」をベースとした μITRON+Linux のマルチ OS 対応の評価キットを発売

組み込み機器向けのドライバ開発・技術コンサルティングを行う株式会社ウェルビーン（横浜市港北区、代表取締役：橋本 竜也）は、μITRON と Linux の2つの OS を同時に動作させることが可能な組み込み CPU の仮想化ソリューション「WB-VRT」の導入・評価キット「WB-VRT 評価キット」（型番：SVRT-EV1、定価 198,000 円）を発売します。

評価キットのプラットフォームにはシステムハウスの株式会社アットマークテクノ（札幌市中央区、代表取締役：実吉 智裕）が開発した Linux 対応の ARM9 CPU ボード「Armadillo-9（アルマジロ・ナイン）」、μITRON にはイー・フォース株式会社（東京都中央区、代表取締役：與曾井 陽一）が開発した μITRON4.0 仕様準拠リアルタイム OS 「μC3（マイクロ・シー・キューブ）」を採用しています。その他、評価キットには Armadillo-9 上で動作する Linux ソースコード、Linux 開発環境、μC3 バイナリコード、WB-VRT バイナリコードなどが用意されており、すぐに開発評価を行うことができます。

「WB-VRT」は、モーター制御などのリアルタイム処理を実現する μITRON 仕様の RTOS と、豊富なソフトウェア資産を持つ Linux を、1つの CPU 上で動作させることができるマルチ OS 環境です。実績のある μITRON のリアルタイム制御向けソフトウェア資産を継承しつつ、通信プロトコルや GUI ライブラリなどの Linux が得意なソフトウェア資産を活用することができます。μITRON・Linux の両 OS から同一デバイスを制御することも可能で、それぞれの OS の特長を活かして開発期間の短縮を図るなど柔軟な開発が可能となります。

2009年5月13日（水）より東京ビッグサイトにて開催される「第12回組み込みシステム開発技術展：ESEC2009」のウェルビーン社のブース（番号：東 36-50）で、本評価キットを使用したリアルタイム制御の動作デモンストレーション展示が実施されます。また、アットマークテクノ社のブース（番号：東 44-1）では「WB-VRT」に関するシアタープレゼンテーションも行われる予定です。

### ● 「WB-VRT」について

リアルタイム OS の1タスクとして Linux の実行を可能にする、組み込み機器向け仮想化ソリューションです。100%国内自社開発のため、細かなカスタマイズ対応も可能です。ARM プロセッサ以外のアーキテクチャにも対応しており、今後、他の OS との組み合わせによる仮想化ソリューション実現も予定しています。

### ● 「Armadillo-9」について

「Armadillo シリーズ」は Linux に対応した ARM プロセッサ搭載の CPU ボードです。2001年発表の ARM7 搭載 CPU ボードから、現在では ARM11 まで発展し、Linux を活用したネットワーク機器の組み込みプラットフォームとして、各種の場面で採用されています。「Armadillo-9」は多彩なインターフェースを備える ARM9 の高機能 CPU ボードとして、開発・評価から量産まで広く利用されています。

### ● 「μC3」について

μC3 シリーズはワンチップマイコン用の Compact シリーズと 32bit のハイエンドプロセッサ向けの Standard シリーズの2種類の製品を用意しています。1つのカーネルで何にでも使えるのではなく、開発ターゲットをフォーカスすることで、開発するアプリケーションに合わせた最適なソリューションをご提供いたします。

■株式会社ウェルビーン 代表取締役 橋本 竜也 からのコメント：

弊社 Linux トレーニングで使用しているアットマークテクノ社の Armadillo と受託開発経験が豊富な Linux と ITRON4.0 ベースの  $\mu$ C3 の組み合わせにより、弊社が得意とする FA・医療機器市場のみならず、機器制御が必要な情報家電などの民生市場においても WB-VRT のもつ柔軟性が有効になってくるでしょう。

■株式会社アットマークテクノ 代表取締役 実吉智裕 からのコメント：

ウェルビーン社のご協力により、「Armadillo シリーズ」に  $\mu$ ITRON が持つリアルタイム性が加わり、組み込み機器開発の可能性をさらに広げる画期的なキットが発売されました。ロボットアームの遠隔制御など「リアルタイム性」と「通信機能」を同時に要求されるような組み込み機器にも「Armadillo シリーズ」がモノづくりのプラットフォームとして貢献できるものと期待しております。

■イー・フォース株式会社 代表取締役 與曾井陽一 からのコメント：

$\mu$ ITRON は今まで多くの組み込み機器に採用され、メーカーには開発してきたアプリケーションやノウハウなど膨大な資産があります。しかし、携帯電話をはじめとしたデジタル機器の機能拡張は、近年急速な勢いで行われており、ソフトウェア部品が少ない  $\mu$ ITRON だけではこの要求に応えられなくなりました。Linux と  $\mu$ ITRON を共存させる WB-VRT の技術により、今まで開発した  $\mu$ ITRON の資産を活かしつつ Linux の機能を使うという第三の選択ができることは、組み込みソフトウェア開発にとって大きなメリットになると考えています。

■株式会社ウェルビーンについて

1995年に会社を設立して以来、リアルタイム OS 技術とハードウェア設計技術をベースに、一貫して組み込み業界においてデバイスドライバ開発や CPU ボード・組み込み機器開発およびコンサルティングサービスを提供しています。1997年に FA 市場向けのオリジナル製品：VxWin を開発して以後、これらのメーカー機能に加え、デジタル情報端末分野を中心とした受託開発を行うエンジニアリング機能や、国内外の安全かつ有効な製品・機能モジュールとインテグレーションを併せて提供する技術商社機能を併せ持つに至っています。詳細は <http://www.wellbean.net/> をご覧ください。

■株式会社アットマークテクノについて

1997年11月に設立されたシステムハウスで、マイコンを使用した組み込み機器のハードウェア・ソフトウェアの総合的な開発を得意としています。Linux に対応した小型 CPU ボードを中心に技術開発を行い、ARM 搭載の小型低消費電力 CPU ボード「Armadillo (アルマジロ) シリーズ」、Xilinx 社製 FPGA を搭載した「SUZAKU (朱雀) シリーズ」など、組み込み機器のプラットフォーム製品を提供しています。詳細は <http://www.atmark-techno.com/> をご覧ください。

■イー・フォース株式会社について

10年に渡る組み込みシステム向けソフトウェアの開発/サポート/販売の経験を生かし、 $\mu$ ITRON4.0仕様の「 $\mu$ C3 (マイクロ・シー・キューブ)」を開発・販売しております。単にソフトウェアを販売するだけではなく、お客様のニーズに合わせた導入コンサルティング、多くのデバイスメーカーやツールベンダーとの連携により、お客様へベストな開発プラットフォームの提案を行います。詳細情報は <http://www.eforce.co.jp/> をご覧ください。

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へ

■株式会社ウェルビーン

横浜市港北区新横浜 2-14-2 新横浜 214 8F  
TEL: 045-470-3285 FAX: 045-470-3286  
info@wellbean.net  
担当：事業開発部 満岡

■イー・フォース株式会社

東京都中央区日本橋蛸殻町 1-26-8 三愛水天宮ビル 2F  
TEL:03-5614-6918 FAX:03-5614-6919  
info@eforce.co.jp  
担当：マーケティング担当 與曾井

■株式会社アットマークテクノ

札幌市中央区北 5 条東 2 丁目 AFT ビル 6F  
TEL: 011-207-6550 FAX:011-207-6570  
info@atmark-techno.com  
担当：営業部 石田

※「Armadillo」は、株式会社アットマークテクノの登録商標です。

※その他、このプレスリリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。